

事業所名		児童発達支援　LigLig				支援プログラム				作成日		2025　年		3　月		25　日	
法人（事業所）理念		○お子さまの自己肯定感を育み、自分らしい豊かな生活が送れるよう支援します。 ○お子さまがたくさんの人たちとつながりを持ち、大切にされている喜びを感じられる場所をつくります。 ○お子さまひとりひとりの心や個性を大切に、社会で自立するお手伝いをご家族が安心できる療育を目指します。															
支援方針		○ひとりひとりの個性を大切にし、主体的に様々な体験をする機会を増やします。 ○「楽しい」「できる・できた」を感じながら自然に成功体験を積み重ねていくプログラムにより、自己肯定感を高める支援をします。 ○地域社会での活動を通して自分や周りの人を大切にする心を育て、将来の社会参加を目指します。															
営業時間		9　　時　　　30　　分から　12　時　　　0　　分まで				送迎実施の有無				○一部あり　　なし							
		13　時　　　30　　分から　16　時　　　30　　分まで															
		支　援　内　容															
本人支援	健康・生活	○健康状態の把握：来所時の検温ときめ細かな観察を行っています。 ○基本的な生活スキルの獲得：挨拶・排泄・手洗い・うがい・衣服の着脱・食育など職員が個別に丁寧に寄り添い、身の回りの一人で行えることを増やしていきます。また、発達段階に応じたライフスキルの獲得を目的にお子さまが楽しく取り組める活動を工夫しています。															
	運動・感覚	○姿勢と運動・動作の基本的技能の向上:楽しく遊びの中で身体を動かし体幹を鍛えたり、協調運動、身体のコントロール方法を身に付けたりしながら、身体の土台づくりを行います。必要に応じて理学療法士による支援を行っています。 ○道具操作：お子さまの発達段階を把握し、遊びの中でつまみ動作の練習から開始していきます。また、感覚遊び（粘土、スライム等）を多く取り入れ、感覚遊びの中に道具操作（スプーン、箸、はさみ）の練習を行っていきます。必要に応じて作業療法士による支援を行っていきます。 ○保有する感覚の活用：視覚、聴覚、触覚、嗅覚、前庭覚等の感覚を十分活用できるよう、遊びを通して支援していきます。お子さまの感覚の特性を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等も行っていきます。															
	認知・行動	○対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得：その日のスケジュールを確認したり、活動内容や場所、時間を視覚的に理解できるような掲示、説明をすることで、お子さまが見通しを持って行動できるよう支援しています。 ○ブロックやパズル、カードゲーム、ボードゲーム等の遊びを通じて、色や形の理解や空間、時間、数等概念形成の習得を促しています。 ○就学支援：小学校で行うこと（仮名・数字への興味、ランドセルや筆箱の使い方、体操着の畳み方、発表の仕方等）を前もって活動の中に取り入れ、自信をもって就学できるようサポートしていきます。															
	言語 コミュニケーション	○コミュニケーションの基礎的能力の向上：お子さまの発達に沿って、まずはやりとり遊びや語彙力向上（語彙を理解する力・話す力）を目指し、話すことが楽しいと感じる心を育みます。必要に応じて言語聴覚士による支援を行い、コミュニケーション能力・滑舌や発音の練習、ことばの検査・知能検査を実施していきます。 ○言語の受容と表出：相手の言葉を理解する力や自分の言いたいことを相手に伝える力を身につけることができるよう支援していきます。 ○言語の形成と活用：具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつけること等により、総合的な語彙力、コミュニケーション力を身に付けることができるよう支援しています。 ○コミュニケーション手段の選択と活用：指差し、身振り、サイン等を用いて、環境の理解と意思伝達ができるよう支援していきます。 ○読み・書きの習得を促す遊び要素を取り入れた活動を行っています。（言葉あそび、カルタなどのゲーム等）															
	人間関係 社会性	○アタッチメント（愛着）の形成　：お子さま一人一人に寄り添い、一緒に遊んだり会話をしたりしながら信頼関係を作り、困った時に助けを求める援助要求スキルの基礎ともなる基本的信頼感を育んでいます。 ○他者との関わり（人間関係）の形成：挨拶を始めとする相互性のあるやりとり、ソーシャルスキルトレーニングを通して他者との関わりの基礎を学んでいます。 ○遊びを通じた社会性の発達：見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援していきます。また、様々な遊びを取り入れ、お子さまの興味関心や遊びの幅を広げ、一人遊びから並行遊び、連合的な遊び、共同遊びへと繋げていきます。 ○仲間づくりと集団への参加：2～6人の小集団でルールのある遊びや運動遊び、やり取りあそび等を通して、楽しみながら他者との関わり方を学んだり、一緒に活動する楽しさを感じられるよう支援していきます。															
家族支援		○送迎時や連絡ツールを通して、お子さまのご様子をお伝えしています。 ○定期的に保護者会や保護者向け研修会を開催し、保護者同士の繋がりも支援しています。 ○定期的な面談だけでなく、連絡ツールや電話、面談を通してご家庭と情報共有を図り、ご家族様と一緒に力を合わせてお子さまの成長を支えています。								移行支援				園や小学校、放課後等デイサービスとの情報共有（移行支援会議）			
地域支援・地域連携		○お子さまの通う園を訪問し、お子さまの園でのご様子を見学させていただいたり、担任の先生等との情報交換を実施しています。 ○お子さまに関わる様々な機関と関係づくりを行い、連携しています。								職員の質の向上				○対面、オンラインによる外部研修を受講し、職員のスキルアップを図っています。 ○定期的に、虐待防止等に関する研修を実施しています。			
主な行事等		○避難訓練　○わくわくキッチン（調理活動）○季節の行事（夏祭り・ハロウィンパーティー・クリスマス会・卒園進級お祝い会） ○お出かけ行事　○誕生会　○からだのはなし（性教育）															